

## ユキホオジロ（ホオジロ科） 全長16センチ

冬鳥として北海道に少数が飛来し、県内では観察例が少ない野鳥です。

1月上旬、秋田市海岸沿いの広大な埋め立て地で、ユキホオジロが休んでいた。舗装されていない平坦地ですが、樹木は一本も生えていません。水溜り周辺に生える草地で、2羽のユキホオジロが植物の種子などを食べている。一心不乱にクチバシを地面に差し込み、右に左に動き回りなかなか頭を上げてくれません。

やっと顔の模様が見えると、オスとメスでした。ホオジロよりもかなり白っぽく、さすがにユキホオジロという名前がピッタリです。



枯草に紛れ、動かなければ分かりません。

暫く続いたお食事も終わり、今度は水溜りに入り水浴びを始めました。身体と両翼をびるびる震わせ、飛沫を周囲にまき散らしている。一度二度ならず、まだやってんのかと言うくらい入念に続けていた。やっと終わったら、飛び立つこともなく再び餌を探し始めたではないか。広い埋め立て地であるが、水溜り周辺から移動する気配はありません。



手前がメス、奥がオス。



水溜りに入り、何かを探す。オス。

撮影を始めてから1時間以上経過した。

お蔭で様々なシーンを撮影できたので、ユキホオシロさんが飛び去るのを待たずに切り上げることにしました。



飛沫を上げ、豪快に水浴び。



一瞬であったが両翼を上げてくれた。